

ふくおか都市圏まちづくりプラン(第5次福岡都市圏広域行政計画)素案に対する意見への対応

■意見募集期間:23年1月4日~2月4日

■受付意見総数:91名/152件

No.	記載頁	項目	意見要旨	意見への対応と考え方
1	10	安全・安心 (危機管理NW)	福岡県や福岡市はワースト記録に名を連ねており、特に交通マナーの悪さは他県・他地区と比較して悪評高い。 飲酒運転やシートベルト、スピード違反等を重点的に取り締まらず、生活に密着した車庫法違反や住宅地の駐車違反等を取り締まるべき。都市中心ではなく、子供や老人が住む住宅街の交通違反を取り締まれば、毎日の生活で身近なルール違反をしない規範意識が育つ。 交通法則遵法精神を原点として市民生活が向上し、安心・安全な福岡都市圏創りができ、福祉の街へと発展する。	◇原案どおり 身近な暮らしの中のルール・マナー向上等規範意識の醸成については、広域的な観点というよりも、各自治体単位で進める取り組みと考えております。
2	10	安全・安心 (危機管理NW)	福岡県内の犬猫殺処分数は長年全国最多で、狂犬病予防注射の実施率も平均値よりもかなり低く、行政を含めた社会が飼い主を甘やかしている。(狂犬病に感染する動物は人を含めた哺乳類で、致死率も口蹄疫とは比較にならない。) 何とかしなければ犬のフンで観光客の思い出も台無しになり、猫が文化財を傷つけ続ける。	◇原案どおり 犬や猫の飼育マナー等については、県や各市町村において策定した計画等に基づき取り組みを進めております。
3	11	安全・安心 (医療・救急医療体制)	こども病院は、西(現在地及び福岡ドーム(国立病院)の周辺)と東(九州大学跡地及び同病院利用)の2ヶ所に設置する。 どちらも、地下鉄等交通が整備されており、利用度が高い。	◇原案どおり 福岡市立こども病院・感染症センターの老朽化・狭隘化に伴う新病院の整備については、新病院の医療機能及び規模を踏まえ、利便性、救急面、経済性、敷地の活用性、療養環境・周辺環境、まちづくりの視点から総合的に判断し、平成20年7月にアイランドシティへの移転を決定し事業を進めてまいりましたが、現在、移転場所決定プロセスについて、様々な立場の人たちで構成された調査委員会において検証が行われているところあり、その結果を踏まえ、適切に対応していきます。
4	10 11	安全・安心 (危機管理NW) 安全・安心 (医療・救急医療体制)	「福岡西方沖地震」で福岡市には危機管理意識が芽生えたが、福岡市中心部には警固断層があり、東には宇美断層があり地震が起こる確率が高く、阪神淡路大地震が福岡都市圏で起これば、壊滅的打撃を受けると思う。 福岡市こども病院・感染症センターはアイランドシティに建替えが予定されているが、都市圏240万人の住民にとっては最高の場所である。 福岡大震災が起きた場合、福岡市は大パニックとなり、医療機関の機能はマヒ状態になる。香椎アイランドシティは都市圏の中心部にあり、広大な土地と高速道路も近く、港湾施設もある。広い土地に野戦病院等が設営でき、患者や救援物資等はヘリコプターで移送でき、多くの救援物資が陸揚げできる。 陸・海・空からの救援でこども病院・感染症センターは、危機管理に大きな力を発揮し、福岡都市圏240万人の住民に「安心・安全」を与える。	◇原案どおり 高年齢者の見守り・支援については、広域的な観点というよりも、各市町村単位、より小さな町内会単位でのきめ細かな対応が求められております。今回のプランは、各自治体がそれぞれに進める取り組みではなく、都市圏全体として連携して取り組む必要がある事項についてまとめております。
5	10 16	安全・安心 (危機管理NW) 住民サービスの向上	高齢者の孤独死問題が顕在化している中で、今後取り組むべきは高齢者へのサービス向上であり、高齢者が一人になるような環境を改善する必要がある。 今のお年寄りには周囲に話せる人が少なく、日常的に他人と会話する機会が減っている状況であるため、お年寄りの方々へのサービスとしてコミュニティ形成を行うことが有効である。 コミュニティが形成されればこの中で防犯情報を共有したりすることで安全対策も容易になる。	◇原案どおり 図書館利用のマナー向上については、各図書館で取り組みを進めており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
6	16	住民サービスの向上	「住民サービスの向上」の図書館の広域利用に関連して、図書館利用者が返却しない書籍については、利用者に対して書籍の弁償を求めるべき。	◇原案どおり 図書館利用のマナー向上については、各図書館で取り組みを進めており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
7	12	水資源・水利用	「水の安定供給のため、引き続き水資源の開発を促進する」とあるが、今後もこれまで通りダム開発を進めるという短絡的な発想は改めて欲しい。 都市圏でも将来的には少子高齢化でこれ以上の人口増加もあり得ず、むやみに、自然破壊してダム建設するのではなく、今ある施設の有効活用を限界まで追及して欲しい。これ以上の自然破壊・住民へのしわ寄せは出来る限り避けてもらいたい。	◆原案修正 近年の不安定な降雨状況等も勘案すると、都市圏の水の安定供給のためには、現在整備中のダム事業については継続して進めることが必要であると考えております。文章を以下のとおり修正します。 【P12「■水資源・水利用」修正】 このような状況から、水の安定供給のため、現在整備中のダム事業の早期完成を図るとともに、引き続き、節水施策を……合理的な利用に取り組みます。
8	2 13	区域 都市交通NW	糟屋郡の5町を福岡市糟屋区として吸収合併し福岡市を拡大してほしい。地下鉄空港線を(JRと競合しない)宇美志免方面に延伸してほしい。	◇原案どおり (糟屋地域との合併) 現在、福岡都市圏内で合併について協議を行っている自治体はありません。 都市圏の各市町はそれぞれの地域・各自治体の特性に応じた政策を展開しています。福岡都市圏の広域行政は、単独市町では取り組みを進めにくい水、交通などの広域的な共通課題解決について着実に成果を上げており、福岡市はその母都市として圏域全体の発展という視点から取り組みを推進する立場にあると考えております。 (地下鉄空港線延伸) 地下鉄空港線の延伸については、採算性の確保が課題であり、今後の周辺地域の開発動向や社会情勢の変化等を捉えながら、公共交通ネットワークのあり方の中で、長期的視点に立って検討してまいります。

No.	記載頁	項目	意見要旨	意見への対応と考え方
9	13	都市交通NW	地下鉄城南線の延伸はこれ以上の赤字拡大を防止するためやらないこと。空港線と(レール幅が違うため)相互乗り入れできない路線をつくったことが誤り。	◇原案どおり 地下鉄七隈線の延伸については、全市的な交通課題や環境問題に対応するとともに、鉄道ネットワークの強化による利便性の向上を図るためにも重要と考えております。今後、天神南から博多駅間の事業化に向け、国との協議に必要な調査を行うなど、早期実現に向けた取り組みを進めていきます。
10	13	下水道の整備	「下水道の整備」で、糸島市圏は、具体的により速やかに推進する。	◆ 原案修正 糸島市は、公共下水道ではなく、農業集落排水施設、合併処理浄化槽等での対応の割合が大きく、平成20年末の汚水処理人口普及率は78.8%となっております。 【P13「■下水道の整備」の修正】 「地域別の汚水処理施設整備状況(平成20年)」表データを追加
11	13	都市交通NW	国際空港・国内空港行く交通機関が不便。(意見者:平尾居住) 博多港～中央ふ頭に行くのも、近い割には不便。	◇原案どおり 福岡空港は、福岡市の都心部に近接し、地下鉄が乗り入れているほか、鉄道や高速道路など様々な交通機関で県内外の各地と結ばれているなど、利便性に優れた空港として知られています。 今後とも、住民や観光客が快適に移動し交流できるよう、公共交通機関の充実に取り組んでいきたいと考えております。
12	13	都市交通NW	「都市交通ネットワーク」は、圏内広域に横割路線を積極的に行い、通勤通学等マイカー利用者を曜日毎に変更、また、企業、大学へ協力を呼び掛け助成する。	◆ 原案修正 ご意見のとおり、都市圏内の渋滞緩和や環境にやさしいまちづくりの観点から、公共交通機関の利用促進を進めていく必要があると考えますので、文章を以下のとおり修正します。 【P13「■都市交通ネットワーク」修正】 公共交通機関の整備及び利用促進を図るとともに、バス路線など生活交通の維持・確保に努め、
13	17 18	自然環境の保全 地域の宝(観光)	環境面(自然)の施設があればよい。 釜山には野鳥保護センターがあったが、憩いの場にもなる。例えば福岡市「防災センター」「油山市民の森」レベルの施設があってもよい。	◇原案どおり 都市圏には豊かな自然、歴史資源などの数多くの「地域の宝」があります。 豊かな自然を活かした農業・漁業体験や心と身体の健康づくりを行う森林セラピー体験など、都市圏住民も観光客も自然を体感できる取り組みを進めていきたいと考えております。
14	18	地域の宝(観光)	中国、韓国、そしてアジア諸国からの観光客は一層増加傾向にあり、観光客の器作りが急務であるため、西新町をアジア観光客の街として再開発する。	◇原案どおり 西新・藤崎地区については、文化・行政機能の集積、既存商店街の界隈性などの特徴を活かしたまちづくりを目指し、現在、地元商店街等と連携しながら、商店街のにぎわいと魅力づくりに向けた取り組みを進めております。
15	18 22 23 24	地域の宝(観光) 広域交流基盤	●大名地域 大名小学校の現校舎を「チルドレンズミュージアム&劇場」として再生活用。 明治通り、大正通り、国体道路、西通りに囲まれた大名地区の約500メートル範囲の道路を一方通行とし、歩道と車道を区割りし、樹木・照明・ベンチ等を設置し、住人、商売人、訪れる人に安全で緑豊かなコミュニティ形成を行い、散策できる環境づくりを実施。 ●天神地域 那の津通り、昭和通り、明治通り、国体道路、薬院通りの歩道を拡張し、それぞれの通りごとに異なる種類の樹木を植樹。樹木のメンテナンスはボランティアで実施。スポンサーを募り、維持費の捻出と合わせて地域への愛着を育てる運用を行う。 通り沿いにベンチを設置し、ベンチにも命名権やスポンサー募集を行い設置・管理費用を捻出。 ●博多駅地域 博多駅周辺地域と博多ベイエリアをさらに強く結び付け、陸(博多駅)・海(博多港)・空(福岡空港)の玄関口としての機能強化と合わせ、コンベンションシティとしての機能を強化し、天神地域との差別化を図る。 博多駅からキャナルシティまでの歩道と車道の段差を無くし、東京表参道の様に樹木を植えかえることで、内外の専門店通りに生まれ変わり回遊性を高める。 ●福岡ベイエリアについて 中央卸売市場鮮魚市場を中心とした地域を、ボストンのフィッシャーマンワーフをモデルとして再生活用。	◇原案どおり 福岡市都心部については、魅力ある都心であり続けるため、さらなるにぎわいの創出や回遊性の向上に向けて、民と官の共働で取り組みを進めております。いただいたご意見については、今後、事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。
16	19	産業振興	九州大学移転について、現代医学は工学部の電子技術や農学部のバイオ技術等あらゆる分野と提携し新治療技術を模索しなければならないのだから、医学部系も移転させるべきである。筑波大学のような学園都市を希望する。 医学部は移転しないのなら、九州医科大学と名称変更して単独組織としてもらいたい。	◇原案どおり 九州大学については、国立大学法人九州大学により移転が決定され、新キャンパス(伊都キャンパス)計画に基づいた移転が進められております。
17	21	広域交流基盤(博多港)	博多港はアジアの玄関口であり、整備を急ぐ必要がある。アイランドシティをアジア1のコンテナ基地に整備。予算は国に陳情すべきである。	◇原案どおり 博多港は、住民の生活を支える生活港湾として、また九州経済全体を支える国際貿易港として重要な役割を担っており、物流施設の集積促進や臨港道路の整備など、港湾機能の充実・強化を進めております。博多港の整備予算の確保については、毎年、国への要望活動を行っております。

No.	記載頁	項目	意見要旨	意見への対応と考え方
18	21	広域交流基盤(博多港)	アイランドシティのコンテナターミナルや岸壁整備は進んでいるが、博多港中央埠頭のハード面の整備で、バース不足という根本的原因が解決していないため、旅客の観点での港整備は進んでいない。 クルーズ船が今春以降中央埠頭ですべて対応できるよう整備されたのは非常によいと思うが、クルーズ船は水物で、長い目で見れば、中国への旅客定期フェリー誘致・開設が不可欠だと思う。そのためには定期航路分のバースの整備が必要であり、その検討・実行を期待する。	◇原案どおり 博多港は、平成22年の外国航路船舶乗降人員数が約87万人と日本一の旅客を取り扱うとともに、最近では外航クルーズ客船の寄港の増加や日韓交流の拡大などにより人・もの・情報が交流する「九州・アジアの海の玄関口」として特に重要な役割を担っております。 定期旅客航路の誘致及びそのためのふ頭の整備のご意見については、今後の事業を進めていくうえで参考とさせていただきます。
19	23	プランの実現のために	県から独立した「大博多構想」の提案 ●提案の背景 地域行政自体の自立が求められており、都市間競争を乗り切るためには、迅速で有機的・合理的な政策と、地域の都市圏意思決定の一本化が必要。 福岡市と他の自治体の格差是正や、福岡市7区を自治行政区とすることが必要。 ●提案内容「大博多構想」 福岡都市圏を県から独立させて「博多県(仮称)」とする。 福岡市7区は自治行政区として政令市から独立。 福岡都市圏の自治体は単一の都市行政体として「博多県(仮称)」に統括。 都市圏の行政を県行政と基礎自治体行政に区分。 ●提案の目的 意思決定機関の一本化により域内資源の可能性を十分に発揮する。 広域行政に求められる専門性や能力の拡充を図る。 生活に身近な行政と、広域行政が行う産業・経済を分担して、充実し効率化させる。 従来の福岡県から独立して「博多県」となることで、広域行政が市民に身近になり参画を促す。 都市圏行政の対等・平準化を図り、自治体間の公平な権利と分担を進める。 ※提案には課題が多いため、プランへの反映は困難と考えるが、都市圏の持続的な発展のための改革は必要であると考えており、意見交換の機会を希望する。	◇原案どおり 都市圏の各市町はそれぞれの地域・各自治体の特性に応じた政策を展開しています。しかしながら、単独市町では取り組みを進めにくい水、交通などの広域的な共通課題もあり、それらの課題解決については都市圏一体となって取り組みを進めております。 国の地域主権改革の動向も注視しながら、今後の広域連携のあり方について検討をまいります。
20	23	プランの実現のために	プランの実現のためには、行政側だけでなく住民が積極的に参加、協力することが発展する条件だと思う。 借金塗れの国の予算の中で、市町村として達成できるもの、市債等の返済・市町税の収入とのバランスを考え、将来にわたった検証がなされることを望む。	◆原案修正 ご意見のとおり、具体的な事業の検討・実施にあたっては、財政状況を踏まえつつ計画的・効率的に事業を推進する必要があると考えますので、文章を以下のとおり修正します。 【P23「3 プラン実現のために」修正】 本プランに示す「福岡都市圏の将来像」に向けて取り組むべき具体的な事業について、財政状況を踏まえつつ、計画的・効率的な事業推進を図れるよう、検討を進めます。
21		計画全体について(アジアとの交流)	●「外国人観光客を呼ぶ」「外国人留学生が住みやすいように」「アジアとの交流」観光にしても居住にしてもこれ以上アジア人が増えるのは反対。 ・中国人をはじめとする外国人犯罪率の高さ、残忍さ、マナーの悪さ・・・経済成長も大事だがその前にまず自衛。治安悪化について考えるべき ・不法滞在防止・犯罪防止などについて実効性ある施策をとりながら慎重に進める必要あり ・外国語サイン整備(中国語・韓国語)不要 ・地方が外国人だけに優しい町になりつつある ・目先の経済効果に惑わされず、市民が安心して出産育児をできる、長期的な視点で福岡市の治安改善と福岡市民、日本国民のための街づくりをすべき ●「国際化」は必要と思うが、受け入れる国を考えるべき。 ・距離的に近いが、中国・韓国は反日教育・反日政策国家。(中国の国防動員法) ・東アジアだけに依存せず、世界規模に広げた国際交流を ●「アジア」「外国人」という表現は全部削除してほしい。 ●外国人参政権、大量移民推進、外国人街誘致につながるおそれがある。	◇原案どおり 福岡都市圏は、他の都市圏にはないアジアとの近接性という特性を生かしながら発展してまいりました。また豊かな自然・歴史・文化・食などの「地域の宝」があり、それらの魅力を都市圏内外に発信し、国内外から人々が集い、交流し、活力あふれるまちをめざしており、今後も進めていく必要があると考えます。
22	全体	計画全体について	アジアの玄関口としての役割はすでに韓国や中国に取って代わられ、アジアの需要を搾取る側から搾取される側に回っていくことは明確である。 福岡がアジアのリーダーシップを取る構造以外に、彼らと共存しながら生活していく時期に来ていることを、住民に知らしめる時期である。九州新幹線全線開通による発展とあるが、市営地下鉄で大きな赤字を出している現状において、未だに公共交通機関を整備すれば発展するというのはおかしい。 今後の施策立案の材料として、失敗事業を検証していない。 「発展」を前面に出して、明るい構図を描くことで「お金」や「人口」が回ってくると訴えたいのだけれど、量的成長以外に、アジアの発展途上国の援助や協力を受けてきたことに感謝すべき。	◇原案どおり プラン策定にあたっては、これまで進めてきた取り組みを踏まえながら、都市圏の現状と課題、今後10年間の都市圏のまちづくりの方向性について、議論を重ねてまいりました。 その議論を踏まえ、福岡都市圏としては、これまで取り組んできた水、交通などのハード整備の生活インフラは一定の成果があがってはいるものの引き続き進めていく必要があること、さらに今後は、他の都市圏にはない、豊かな自然・歴史・文化・食などの「地域の宝」、それらの魅力を都市圏内外に発信し、アジア・国内各都市との交流・連携を進めていく必要があるということを示してまいります。
23	10	安全・安心(危機管理NW)	賛成	
24	12	水資源・水利用	賛成	
25	13	都市交通NW	賛成	
26	17	自然環境の保全 歴史・文化の保全・継承・創出	賛成	